



ご挨拶

今日は“*A-Winds73*”2026年 夏の演奏会にお越し下さり誠に有難うございます。「こころ豊かな文化の香り高き町 大和郡山市」お城の麓“DMG MORIやまと郡山城ホール”で皆様方と、お逢いすることができましたことに*A-Winds*一同心より感謝申し上げます。

四季折々に開催する、*A-Winds*の定期演奏会も73回目を迎えることができました。これもひとえに我々*A-Winds*の音楽活動をこよなく愛して下さっている、皆様方のご指導ご支援の賜物と、心より感謝いたします。

今日は、皆様にご報告があります。*A-Winds*創団以来27年目にして初めて、団員60名での活動となり今回のステージは、今まで以上の深みのあるサウンドをお楽しみいただけたと思います。

今回、客演指揮をしてくださる小谷俊介さんとは3回目の共演となります。音楽の技術だけでなく、私たちが表現したい想いを1本のタクトで鮮やかに引き出していただきました。小谷さんと60名の団員が織りなす、今の瞬間にしか生まれない一体感をぜひ感じていただきたいです。そして、もう一つ私から皆様にお伝えしたい特別なプログラムがあります。2人の実行委員長が、『夢やぶれて』の曲中でデュエットを奏めます。2人が重ねてきた努力と、これまでの軌跡がそのまま音になったような、胸を打つデュエットをどうぞお聴き逃しのないようお願いいたします。本日ご来場いただいた皆様の 心を潤し、私たちが目指す『人の和の奏で』をお届けできるよう、団員一同、精一杯演奏いたします。

二人の歌 響き優しき 雨ののち

*A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ 団長 佐藤 由加里

*

今日は“*A-Winds73*”2026年 夏の演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

今日は「映画音楽」をテーマに、吹奏楽に馴染みのない方にも気軽にお楽しみいただけるよう、映画やミュージカルなど、耳馴染みのある楽曲を数多く取り揃えたプログラムを構成いたしました。世代を超えて愛され続ける名曲の数々をお届けいたします。

第一部では、今年度の吹奏楽コンクール課題曲、そして鈴木英史作曲『カントゥス・ソナレ』を演奏いたします。タイトルの通り「歌と響き」が織りなす音の重なりや、響きの美しさを感じていただければ幸いです。続く第二部のアンサンブルステージでは、5組の異なる編成による多彩な音色と、少人数ならではの表現にご注目ください。

そして第三部では、映画やミュージカルの名作から、愛や葛藤、冒険といった物語を音楽で鮮やかに描き出します。皆さまの心に残るひとときとなりますよう、団員一同、想いを込めて演奏いたします。

本日のステージが、皆さまにとって特別な時間となりましたら幸いです。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

“*A-Winds73*”2026年 夏の演奏会 実行委員長 西崎 潤人 谷田 和奏

募金のお礼とご報告

*A-Winds*では演奏会開催ごとに義援金を募っており、演奏会終了後に「日本赤十字社」及び「奈良県新型コロナウイルス感染症対策基金」等に全額納めております。

*A-Winds72*では18,418円を「令和6年能登半島地震災害義援金」の受付口座に納めました。

また、募金を開始した*A-Winds78*から*A-Winds72*まで、総額402,322円の募金をお預かりし、各受付口座に納めております。

募金にご協力いただいた多くの方々に、団員一同厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



A-Winds 奈良アマチュアウィンドオーケストラ

Piccolo

佐藤 由加里

Flute

佐藤 司

魚谷 陽子

大塚 由起

南 結香(宣伝・チラス)

谷田 和奏♪

Oboe

桶谷 牧子(渉外)

白井 秀

Bassoon

桶谷 美咲(プログラムノート)

上田 良子

Clarinet

大谷 実

B^b Clarinet

竹村 明恵

吉本 樹

中山 詩織

中山 由香

西崎 潤人♪

八木 彩乃

山下 美結(宣伝・マスコミ)

佐藤 佑奈♪

島 卓真(プログラムノート)

松本 ゆかり

波多野 円香

Alto Clarinet

大西 晴己

Bass Clarinet

森口 悠斗

Alto Saxophone

島田 博一

小山 飛鳥

三宅 利幸♪

山藤 あずみ

Tenor Saxophone

初岡 和樹

Baritone Saxophone

伊藤 耕平

Horn

久野 耕三

大田 雅美

坂元 葉

坂本 美萌里(アンサンブル)

Trumpet

魚谷 昌克

谷田 弥生

山本 洋介

大西 伸幸

井上 寛治

乙川 佳世♪

谷田 雪月

Trombone

小泉 文浩

田中 由美(宣伝・ミニレター)

赤羽 孝文(チラスデザイン)

寺阪 清貴

松本 麗

田中 智寛♪

Euphonium

尾登 勇介

原田 桃花

藤山 みらい

狭間 未玖乃

Tuba

吉村 優花

堤 正治郎

松下 幸平(宣伝・チラス)

松尾 大輔

Percussion

谷口 麻子

木津 尚子

川人 舞

田口 幹朗♪

池野 柊平♪

新井 美和♪

佐藤 拓♪

Piano

八木 真木

Stage Manager

河村 穰香♪

Announcer

境 貴子♪

団員合計 60名

♪ = エキストラ

♪ = 休団

♪ = 実行委員長

() = 演奏会実行委員



A-Winds 団員募集パート

●募集パート

Bass Clarinet ————— 1名

Horn ————— 2名

Contra Bass ————— 2名

Percussion ————— 4名

Stage Manager ————— 1名

●*A-Winds*の活動趣旨(ウィンドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方

●ご自分で楽器を準備できる方 ●全ての活動に賛同頂ける方

●18歳以上の方

●詳細はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先は<e-mail>a.winds.nara.contact@gmail.com



2026年6月21日(日) 14:00開演 (13:30開場)
DMG MORI やまと郡山城ホール 大ホール

主催●*A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ
後援●奈良県・大和郡山市・大和郡山市教育委員会・一般社団法人 奈良県吹奏楽連盟



プログラム & プログラムノート

第1部 ― 指揮：小谷 俊介

夕映えの丘 (2026年度吹奏楽コンクール課題曲 I) Sunset Hill

○作曲：森山 至貴／Noritaka Moriyama

○出版：全日本吹奏楽連盟

○演奏時間：約 4 分

第35回朝日作曲賞受賞作品。作曲者は合唱曲の作曲者として著名で、過去には合唱部門の朝日作曲賞も受賞しています。さらには社会学の教授でもあり、マルチな活躍をされています。本作品は、合唱曲のように、息の長い旋律と繊細なハーモニーが印象的な一作です。タイトルの通り、黄昏時の丘から眺める情景を彷彿とさせるノスタルジックな主題が、木管楽器の柔らかな音色から金管楽器の豊かな響きへと受け継がれていきます。心の琴線に触れる抒情的な歌心と、吹奏楽ならではのシンフォニックな色彩感が融合した、美しく感動的な小品です。

管楽器のためのフィナーレ (2026年度吹奏楽コンクール課題曲 IV) Finale for Wind Ensemble

○作曲：伊藤 康英／Yasuhide Ito

○出版：全日本吹奏楽連盟

○演奏時間：約 5 分

本年度の全日本吹奏楽コンクール課題曲として委嘱された作品で、作曲者の課題曲は1996年度「管楽器のためのソナタ」以来です。代表曲「吹奏楽のための交響詩『ぐるりよぎ』」を彷彿とさせる緻密に計算された構成で、冒頭に示されたモチーフが様々に登場します。管楽器の持つ色彩豊かな音色と機動力をベースに、打楽器が鮮烈なアクセントを示しながら、まさに「フィナーレ」の名に相応しい高揚感を描き出します。伝統的な書法に現代的なセンスが光る、演奏団体の確かな技術とアンサンブルの緻密さが試される充実した一曲です。

カントゥス・ソナーレ

Cantos Sonare for wind ensemble

○作曲：鈴木 英史／Eiji Suzuki

○出版：CAFUAレコード／CAFUA Records

○演奏時間：約 8 分

本作品は2004年に創価グローリア吹奏楽団の委嘱で作曲されました。題名の「カントゥス」は「歌」、「ソナーレ」は「響き」を意味し、作曲者による「愛の三部作」の一曲です。

重厚なTuttiに始まり、曲を支配する歌が提示されます。この歌と和音や和声による響きで作られる大きな波が引き、快速部へ移ります。快速部では、歌が幾層にも重なり大きな緊張を持った響きが生じます。その緊張の解放から過去を追憶する旋律を経て、疾風怒濤のビートと共に再び歌が湧き立ち、Desの和音で幕を閉じます。

タイトルにある「歌」は旋律(音の横のつながり)、「響き」は和音(音の縦のつながり)により形成されます。そして両者は緻密な計算、また対位法と和声法という西洋音楽の二大根幹のもと調和します。(特に和声法は作曲者が非常に重要視しています。)

以下、本作品の曲目解説より引用です。

(前略)この作品は、(中略)「愛」という言葉にも、大きく影響されています。(中略)今回の「愛」は、個人と全体における調和の「愛」です。旋律は

個人、響きは全体と考えても良いでしょう。家族・学校・職場・国家・世界、いろいろな視点での、他者との出会い・理解。そこに必要なのは他者を理解すること。それは「愛」によってでしか、得られないものだと、僕は信じています。

以上が作品の概要ですが、こうした知識はあくまで他者(この作品、お客様、演奏者など)を理解する一助にすぎません。では、理解しようとする“動機”は？

それが「愛」ではないでしょうか。

本日は私たちの「愛」を込めて演奏いたします。ぜひ「愛」をもって、私たちの歌と響きをお受け取りください。

第2部 アンサンブル・ステージ

木管四重奏：道 (山下祐加作曲)

大塚 由起：Flute／桶谷 牧子：Oboe

八木 彩乃：Clarinet／小山 飛鳥：Baritone Saxophone

クラリネット六重奏：「ハウルの動く城」セレクション

大谷 実・竹村 明恵・中山 詩織・中山 由香・八木 彩乃：B^b Clarinet

森口 悠斗：Bass Clarinet

打楽器三重奏：リロ&スティッチメドレー

川人 舞・木津 尚子・谷口 麻子：Percussion

フルート&ピアノ：フライ・ミー・トゥ・ザ・ムーン

佐藤 司：Flute／八木 真木：Piano

バリ・テューバ五重奏&カホン：キャラバンの到着 (ロシュフォールの恋人たち)

狭間 未玖乃・藤山 みらい・原田 桃花：Euphonium

吉村 優花・松下 幸平：Tuba／上田 良子：Cajon

第3部 ― 指揮：小谷 俊介

ウエスト・サイド・ストーリー・セレクション West Side Story Selection

○作曲：L. バーンスタイン／L. Bernstein

○編曲：W. J. デュソイト／W. J. Duthoit

○出版：Hal Leonard

○演奏時間：約 9 分

1953年に初演された『ウエスト・サイド・ストーリー』は、20世紀が生んだミュージカル最高傑作と称され、永遠のスタンダードとして、現在も世界中で上演され続けています。

物語はシェイクスピアの『ロメオとジュリエット』の構図を下敷きにしており、ニューヨークのダウタウン“ウエストサイド地区”で繰り広げられる不良少年たちの抗争を背景に、敵同士にもかかわらず恋に落ちてしまった主人公トニーとマリアの苦悩と悲劇を描いています。

「セレクション」は、世界中で大ヒットしたナンバー「トゥナイト」、劇中で決闘を前に歌い踊る「クール」、プエルトリコ系移民の女の子たちが歌い上げる「アメリカ」などをはじめとする、よく知られている名曲の数々がメドレーになっています。

夢やぶれて (ミュージカル「レ・ミゼラブル」より) I Dreamed a dream from “Les Miserables”

○作曲：C. M. シェーンベルク／C. M. Schonberg

○編曲：杉本 幸一／Koichi Sugimoto

○出版：株式会社国立楽器

○演奏時間：約 5 分

ミュージカル『レ・ミゼラブル』は、19世紀フランスを舞台に、宿命に抗い生きるジャン・バルジャンの生涯と、民衆の群像劇を描く壮大な物語です。本日演奏する「夢やぶれて」は、職を失い、我が子を守るために身を落としたファンティーヌが、家族と共に過ごした幸せな数年間を思い出しながら、叶うことがない愛にあふれた日々への夢を歌い上げます。美しくも哀切な旋律は、静かな語り出しから、やり場のない絶望をぶつけるクライマックスへと向かいます。人間の尊厳と深い悲しみを、心を揺さぶるような抒情的な調べでお聴きください。

映画「ジュラシック・パーク」よりサウンドトラック・ハイライト Jurassic Park Soundtrack Highlights

○作曲：J. ウィリアムズ／J. Williams

○編曲：P. ラヴェンダー／P. Lavender

○出版：Hal Leonard

○演奏時間：約11分

1993年の公開以来、現在にわたり世界中を熱狂させている映画『ジュラシック・パーク』シリーズ。ジョン・ウィリアムズにより作曲された音楽は、自然の雄大さや恐竜の脅威を見事に描き出し、今もなお愛されています。本日演奏するハイライトは、初代『ジュラシック・パーク』のサウンドトラックから4曲を、原曲の響きを忠実にアレンジしています。「オープニング・タイトル」の不穏な導入部から始まり、「ジュラシック・パーク視察旅行」で恐竜との出会いへの期待や感動が、金管楽器の勇猛なメロディにより表現されます。そして、劇的な「ジュラシック・パークのテーマ」と「エンド・クレジット」により映画の感動的な場面が鮮やかに蘇ります。吹奏楽ならではの迫力あるダイナミクスと、色彩豊かな音のパレットが描き出す、壮大な音楽の旅をご堪能ください。

小谷 俊介



プロフィール

相愛大学音楽学部卒業。バスクラリネット専攻。これまでにクラリネット・バスクラリネットを福井聡、クラリネットを金井信之の各氏に師事。日本ウインドアンサンブル《桃太郎バンド》首席バスクラリネット奏者として活動する他、関西を中心に室内楽、吹奏楽、オーケストラなどでの演奏会や収録に参加。

“*A-Winds* 74” 2026年 秋の演奏会のご案内

2026年11月15日(日) 14：00開演
DMG MORI やまと郡山城ホール 大ホール

“*A-Winds* 74” 2026年 秋の演奏会では、吹奏楽オリジナルをはじめとした様々なジャンルの、変化に富んだ「多彩なサウンド」をお届けします。

吹奏楽の魅力を詰め込んだプログラムで、その響きにどっぷりと浸るひとときを、ぜひお楽しみください。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

“*A-Winds* 74” 2026年 秋の演奏会 実行委員長 坂元 栞